

塩竈市議会だより

平成21年

6月定例会号

	ページ
● 議案審議の概要及び 各委員会構成	2
● 各常任委員長報告、決議	3
● 市政に対する一般質問	4～7
● 表彰、会派構成及び 審議結果	8

編集発行 宮城県塩竈市議会報編集委員会 tel022(364)1214 Aug.2009 (平成21年8月)
ホームページアドレス <http://www.city.shiogama.miyagi.jp/html/about/gikai/index.html>



キッズボランティア七夕まつり (ふれあいエスブ塩竈)

定例会のあらまし

平成二十一年第二回市議会定例会は、六月八日から六月十八日までの十一日間の会期で開催されました。

本会議初日に、議長選挙を行い、志賀議長が再選されました。選挙後に提出された副議長に対する辞職勧告の動議は可決、議長に対する辞職勧告の動議は否決されました。その後、各常任委員会委員及び議会運営委員会委員を選任し、各委員会の正副委員長を互選しました。さらに、市長から提出議案の説明を受け、総括質疑の後、請願一件とともに所管の常任委員会にそれぞれ付託しました。また、議員提出議案四件を即決しました。

各常任委員会は三日間開催され、付託議案と請願の審査を行いました。

本会議二日目と三日目は八名の議員が市政に対する一般質問を行い、市長の見解をたどりました。

定例会最終日には、各常任委員長から審査結果の報告を受け、議案十二件を可決、請願一件を継続審査としました。また継続審査中だった請願一件については取り下げを認め、閉会しました。

(議案の件名と審議結果は八ページ)

定例会会議日程

(本会議)

6月8日 会期の決定、諸般の報告、議長選挙、各常任委員会委員の選任、議会運営委員会委員の選任、請願付託、議員提出議案採決、議案説明、総括質疑、議案付託

(委員会)

6月10日 総務教育常任委員会
6月11日 民生常任委員会
6月12日 産業建設常任委員会

(本会議)

6月15日 市政に対する一般質問
6月16日 市政に対する一般質問
6月18日 各常任委員長報告、議案の審議及び採決、請願の審議及び採決

平成二十一年六月定例会

東塩釜駅エレベーター整備事業費補助金など

補正予算四億二千三十九万円を可決

六月定例会の一般・特別会計補正予算額は、四億二千三十九万円で、補正後の予算総額は三百七十六億七千九百七十九万円となりました。

一般会計の補正では、「東塩釜駅エレベーター整備事業費補助金」、「各保育所環境整備事業」、「市内各所市道整備事業」、「小中学校施設整備事業」等を含む「地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業」一億千五百万円や、

「まちづくり交付金事業」、「市営清水沢住宅外壁改修事業」を事業内容とする「国の補正予算に伴う国庫補助事業」一億四千四百万円等を主な内容とした三億四千八百九十九万円が追加されました。

また、魚市場事業特別会計において、地域活性化・経済危機対策臨時交付金を活用し、漁船に対して水揚げ額の千分の三を補助する「水揚げ船緊急支援事業」千五百万円が追加され、下水道事業特別会計の補正額三千万円、土地区画整理事業特別会計の補正額二千六百四十万円をあわせた特別会計では七千四百十万円が追加されました。

条例では、「塩竈市市税条例の一部を改正する条例」で、所得税の住宅ローン控除適用者に対し、所得税から控除しきれなかった住宅ローン控除額について九万七千五百円を限度に翌年度の個人住民税から控除する制度が創設されました。また、「塩竈市国民健康保険条例の一部を改正する条例」では、緊急の少子化対策として平成二十一年十月か



議長就任のご挨拶

六月定例会初日に市議会議長選挙が行われ、志賀直哉議長が再選されました。

このたび六月定例会において議員各位のご推挙をいただき、再度議長に就任させていただきました。

平成十九年五月に議長に就任し、皆様方のご支援ご懇情のもと職務に専念してまいりましたが、引き続き重責を担わせていただくことになりました。

もとより微力ではございますが、地方自治の伸展と市民福祉の向上に改めて専心努力いたす所存でございます。

市民の皆様には、今後とも、議会への一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。



東塩釜駅

ら二十三年三月まで、出産育児一時金を四万円引き上げることとしました。その他、「高額介護合算療養費」制度の創設に伴い、「健康保険法等の一部を改正する法律等の施行に伴う関係条例の整理に関する条例」により乳幼児医療費助成条例等の関連三条例を改正しました。

条例以外では、「塩竈市集会所の指定管理者の指定について」、「市道路線の認定及び廃止について」及び気仙沼市と本吉町の合併に伴う一部事務組合規約変更等三議案を可決しました。

各委員会構成

常任委員会及び議会運営委員会の委員の任期（二年）切れに伴い、六月定例会で新委員が次のとおり選出されました。

総務教育常任委員会

主な所管事項

市の総合計画・財政・市税・教育などに関すること。

- 委員長 佐藤英治
- 副委員長 小野幸男
- 委員 伊勢由典
- 委員 佐藤貞夫
- 委員 今野恭一
- 委員 鎌田礼二
- 委員 香取嗣雄

議会運営委員会

主な所管事項

議会の運営や会議規則・委員会条例などに関すること。

- 委員長 伊藤博章
- 副委員長 伊勢由典
- 委員 浅野敏江
- 委員 菊地進
- 委員 鎌田礼二

民生常任委員会

主な所管事項

社会福祉・医療保健・環境衛生などに関すること。

- 委員長 浅野敏江
- 副委員長 曾我ミヨ
- 委員 吉川弘
- 委員 伊藤博章
- 委員 志賀直哉
- 委員 菊地進
- 委員 鈴木昭一

産業建設常任委員会

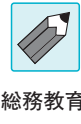
主な所管事項

産業・港湾・都市計画・上下水道などに関すること。

- 委員長 小野絹子
- 副委員長 東海林京子
- 委員 中川邦彦
- 委員 嶺岸淳一
- 委員 伊藤栄一
- 委員 阿部かほる
- 委員 木村吉雄

常任 委員長 報告

六月定例会において、議案十二件と請願一件が各常任委員会に付託され、慎重に審査が行われました。
各委員長報告の要旨は次のとおりです。



総務教育常任委員会

委員長 佐藤 英治

◎議案第53号、第56号、第62号、第63号については、原案のとおり可決すべきものと決しました。
〔塩竈市一般会計補正予算に対する要望意見〕

小中学校施設整備事業については、地方公共団体において、地球温暖化対策、少子高齢化社会への対応、安全・安心の実現、その他将来に向けた地域の実情にに応じ、きめ細かな事業を積極的に実施できるよう国から交付される「地域活性化・経済危機対策臨時交付金」に基づき実施されるものであるが、事業実施にあたっては、本市小中学校に

おける教育環境の充実をあわせ、厳しい経済情勢の影響を受けている本市商工業の活性化を図るため、地元業者への積極的な発注について鋭意努められたい。



民生常任委員会

委員長 浅野 敏江

◎議案第54号、第55号、第56号、第60号、第64号については、原案のとおり可決すべきものと決しました。

〔塩竈市一般会計補正予算に対する要望意見〕

コミュニティ助成金については、住民の自主的なコミュニティ活動の促進と住民の連帯意識を向上させる観点から、住民自治の中核となる町内会等に対し、コミュニティ助成金の活用をさるる周知に努められたい。

〔塩竈市集会所の指定管理者の指定に対する要望意見〕
集会所の運営管理については、これまで指定管理者である管理運営委員会により、効率的かつ適正に行われてきたところであるが、今後安全で安心な運営管理が行われるよう、管理運営委員会の実情を踏まえながら、より一層の支援に努められたい。



産業建設常任委員会

委員長 小野 絹子

◎議案第56号、第57号、第58号、第59号、第61号については、原案のとおり可決すべきものと決しました。

〔塩竈市魚市場事業特別会計補正予算に対する要望意見〕

当該予算は、マグロはえ縄船の国際減船問題で、水揚げ量の減少が懸念されるため、さらなる水揚げ船の誘致策として、水揚げ金額の千分の三相当額を補助しようとするものであり、昨年実施した「燃油高騰対策緊急支援事業」に引き続き大いに評価するものである。今後も新たな発想のもと本市独自の施策を講じるとともに関係機関との連携を深めながら、本市水産業及び関連産業の振興におお一層努められたい。

◎請願第9号「協同労働の協同組合法（仮称）早期制定を求める意見書の提出に関する請願」については、今後の国の動向を見きわめながら、時間をかけて慎重に審査すべきとの意見が大勢を占め、閉会中の継続審査とすべきものと決しました。

決 議

今定例会で可決された決議は三件で、概要は次のとおりです。

▼地方分権改革の推進に関する決議

一、国と地方の役割分担を見直し、国から地方に権限・事務・財源を一体的に移譲すること。
その際、「補完性・近接性」の原理に基づき、住民に身近な行政を担う基礎自治体への権限・事務・財源の移譲を促進すること。

二、国の出先機関の廃止・縮小による国と地方の二重行政の解消により、国・地方を通じた行政の簡素化を推進すること。
三、地方に関わる事項についての政府の政策立案及び執行に地方の意見を反映させるため、政府と地方の代表者等が協議を行う「(仮)地方行政財政会議」を法律により設置すること。

四、地方分権時代における地方議会の役割は一層重要性を増すことから、議会の自主性・自律性を高め、各議会が地域の実情に応じ、自らの判断により権能を行使できるよう、議会の活動を制約している関係法令上の諸

規定を見直し、地方議会の権能を強化すること。

▼地方税財源の充実強化に関する決議

一、地方交付税については、地方財政計画に地方の財政需要を適切に反映し、総額を増額すること。
二、地方が担うべき事務と責任に見合うよう、国税と地方税の税源配分をまずは五対五とすること。その際、偏在性の少ない地方税体系の構築に最優先で取り組むこと。

▼北朝鮮の地下核実験に抗議し、核実験中止と核兵器開発中止を求める決議

北朝鮮は5月25日、二回目の地下核実験を行った。国連安保理決議1718（2006年10月14日）、六カ国協議で合意した共同声明に違反する行為である。度重なる核実験は、国際的な核不拡散体制に対する重大な挑戦であり、唯一の被爆国である我が国としては、決して容認できないものではない。

塩竈市議会として北朝鮮の核実験に対し抗議し「北朝鮮の核実験中止と核兵器開発を中止すること及び無条件で六カ国協議に復帰すること」を強く求める。

一般質問

本会議における各議員の一般質問の中から二つ取り上げて、その要旨を掲載しています。



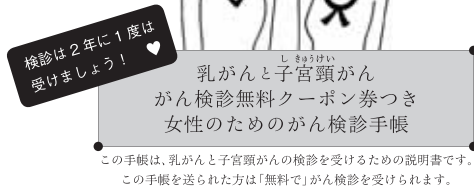
公明党
浅野敏江

女性の健康・女性特有のがん検診強化対策は

議員 女性特有のがんについては、特に乳がん検診の受診率が低く、また、子宮頸がんは、近年、若い女性に急増している現状にある。がん予防は定期健診が大変重要であり、検診が最大の予防と考える。今般、国の補正予算で女性特有のがん検診事業として、一定の年齢の方を対象に検診手帳と無料クーポン券が配布される。その制度を活用しながらがん検診の受診率アップを期待するが、がん検診強化対策について市長の見解を伺いたい。

市長 本市では、全般的にがん検診の受診率が減少傾向にあることから、がん検診受診率向上

を重点項目に位置付け、がん予防講演会や出前健康講座の開催、健康推進員と連携し、検診のPR活動等積極的に行っている。国の補正予算に盛り込まれた女性特有のがん対策事業は、今年度限りである。しかし、塩竈の地域の方々の健康づくりを考えると一回限りではなく継続して取り組むべき課題ではないかと考えている。



女性のためのがん検診手帳（見本）

「子育て応援情報マップ」の配布を

議員 静岡県長泉町では、子育て支援策として子供マップを発行している。このマップは、町全体の地図、各種施設、医療機関の住所、電話番号、予防接種の情報など、小さな子供をもつ

家庭にとって必要な情報が網羅されている。これまで市では、数々の子育て支援を行っているが、その情報を一つにまとめ情報発信する、安心とゆとりを持ち、育てやすい環境を整備するための子育て応援情報マップの配布を考えてほしい。

市長 子育て支援については、「のびのび塩竈っ子プラン」に基づき、様々な事業を展開している。本市では保育所や幼稚園等の位置を記載した白黒版の「塩竈子育て情報マップ」を主な公共施設の窓口においている。今後は、子どもが遊べる公園等の施設、年間行事や子育て支援の制度等を記載した、より充実した情報マップを作成し、多くの子育て世代へ配布して行きたいと考えている。

環境・エコ対策は



公明党
小野幸男

議員 地球温暖化防止に向けて家庭、オフィス、学校、自治体等挙げての地道な取り組みが重要であり、その積み重ねが二酸化炭素等の排出を抑制し、低炭素社会への道となる。こうした

中、国は住宅用太陽光発電の導入に対する補助金の予算を計上しており、自治体でも独自に補助制度を導入するところがふえている。さらには、税制改正で太陽光発電設置に係る費用の減税措置が盛り込まれている。本市においても太陽光発電システムの補助制度を導入し、設置普及に向けた支援に取り組むべきと考えるが見解を伺いたい。

市長 国の補助の動きを受け、県でもことし五月から一般住宅用太陽光発電の普及促進事業補助金の募集を始めているが、まだまだ普及、啓発の段階であり、市民の関心度も高まっていないように見受けられる。とりあえずは国県等の制度の普及促進に



塩竈市立病院の太陽光発電

ドクターヘリの導入は

努めながら、本市独自の対策については状況をみながら判断し、今後の対応としたい。

議員 ドクターヘリは空飛ぶ救命室とも呼ばれており、救急医療に必要な機器と医薬品を装備し、救急専門の医師や看護師が乗り込んで、事故現場や患者のいるところに駆けつけ、その場で即座にあるいは搬送中の機内で治療に当たることが出来る救急システムである。その場で救急医療が行えるため、救命率を大幅に高めることができる。本市には離島があり、住民の生命を守るためドクターヘリが不可欠であり、早期導入を関係機関に強く働きかけていくべきと考えるが市長の考えを伺う。

市長 国内でのドクターヘリ運用は十六都道府県にとどまっているが、その最大の要因は多額の運行費用にあると考える。県では離島・山間部の救急搬送は県所有の防災ヘリコプターで対応しており、ドクターヘリの導入については本年度中に方向性を決定すると聞いている。離島を有する本市としても、引き続きドクターヘリの必要性と整備促進を強く働きかけたい。



日本共産党塩釜市議団
中川 邦彦

平和市長会議の加盟を

議員 オバマ米大統領は、四月五日にプラハで行った演説で、アメリカの大統領として初めて「核兵器のない世界」を追求することを国家目標とすると宣言した。国内では、この呼びかけに平和団体や被爆者の会等、数多くの方が歓迎している。

広島市の秋葉市長が呼びかけている『平和市長会議』には、世界の二千九百二十六の都市、国内では二百九十三市が参加している。非核都市宣言をしている塩竈市も参加して頂きたい。

市長 平和な社会の実現は、唯一の被爆国であるわが国の国民の悲願である。本市では、昭和六十一年九月議会において核兵器廃絶平和都市宣言が議決された。この宣言は、核兵器の廃絶を世界の人々に呼びかけ、塩竈市民の願いを込めて塩竈を平和都市にするというものである。

平和市長会議への加盟はまだしていないが、世界の恒久平和の実現に向けて今後も本市としてできる限りの努力を傾けていきたい。



核兵器廃絶平和都市宣言をしている塩竈市

私道の整備を

議員 市内には数多くの私道があり、大半は地元の人達の生活道路として利用されている。特に北部地域は急傾斜地で住宅も密集し道幅も狭く、崖や階段が多く危険な所もある。民有地の為に地元負担を求められ、なかなか整備が進まないし、手が付けられていない。

住環境整備をバラバラではなく一体の物として進める必要があり、住民の安心・安全の為に、全体を包括する環境整備費として検討していただきたい。

市長 私道は私有財産なので、整備には本市の私道等整備補助金制度を活用していただき、地

元負担もお願いしている。今後円滑な制度活用のため、関係者との協議を進めていきたい。ご提案の制度については、現在の私道等整備補助金制度を活用していただくことを基本と考えているが、地域の需要が高い私道の場合はご要望を十分精査・検討し、全体の環境整備の中で対応できるか検討したい。



日本共産党塩釜市議団
小野 絹子

東塩釜駅・西塩釜駅へのエレベーター設置を

議員 市は六月議会に、JRが行う東塩釜駅エレベーター設置の補助金として、三千万円（半分は県の補助）の予算を提案している。JR仙台支社は、平成十八年五月十六日に当市議団の駅へのエレベーター設置の要望に「東塩釜駅には二十二年度までに設置したい」と述べており、エレベーター三基で二億八千万円の総事業費をかけて設置する同社の決意が伺われる。エレベーター設置のスケジュールと設置時期、また、西塩釜駅への設置について市の考えと対応を伺いたい。



本塩釜駅エレベーター

万円を入れると四千万円の黒字になるが、二十一年度からは大幅な財源不足が見込まれると値上げの理由にしてきた。しかし、今年の四月の試算で二千五百万円の黒字の見通しの上、一億四百万円の基金、さらに無利子で県から一億二千万円の貸付を受けると二十年度決算時には二億五千万円の財源があることになり、値上げの根拠はなくなる。凍結すべきである。市長の考えを伺いたい。

市長 医療給付費について過去の伸び率から今後も毎年三％程度増えるものと予想しており、値上げを凍結した場合、単年度当たり一億円から三億円位の財源不足が見込まれている。二十一年度からの三カ年間で、国保会計が何とか収支均衡を図れないかということでの度値上げをさせていただくことになった。市民の大変貴重な財源であるため、しっかりと活用しながら三年度の成果を出していきたい。

二十一年度の国保税の税率改定(値上げ)は凍結を

議員 市は、二十年度国保会計の収支見通しを八月試算で六千四百万円の赤字、基金一億四百

市政に対する一般質問



市政に対する一般質問



ニユー市民クラブ
伊藤栄一

町内会の合併については

議員 町内会では、役員の高齢化による後継者不足、少子化による児童数の減少、近隣との希薄化に伴うレクリエーション等への参加者不足など、深刻な問題がおきている。このようなことから、問題解決策として町内会の合併等の動きがある。市ではこのような町内会の対応をどのようにとらえ、今後、指導・調整の考えはあるか伺いたい。

市長 各町内会では、役員の高齢化、後継者不足は共通した問題であり、解散するところもある。また、小規模な町内会では、担い手や参加者不足から町内のレクリエーション行事が実施できないところもある。そのような中、泉沢地区の六町内会が連合組織を設立したことは地域社会を維持する手法を見出した点で意義があると考える。今後も、高齢化や住民意識の変化より、町内会組織の存続に向けた模索は続くと思うが、市では町内会の自主性を尊重する立場で支援したいと考える。

農山漁村交流とともに
浦戸振興を

議員 小学校の体験教育については、農山漁村に滞在し、体験活動を通じて生きる力を育むとしたねらいから、浦戸が最も条件に合う場所と考えている。また体験活動の実施を通して浦戸振興の効果も期待されることから、一番実のある学校教育活動ではないかと思うが浦戸における体験活動の状況について伺いたい。

市長 浦戸における自然体験や勤労体験は、日常の学習では得られないものを学べるといった面で、子どもの人間性や社会性



しおがま何でも体感団（浦戸イカダ作り体験）

を豊かに育む掛け替えのない学習機会と考える。

教育長 教育委員会では、市内の学校や家庭に対し、浦戸での体験活動の魅力と実施の促進について指導してきた。島探検、自然観察、つり大会、浦戸の歴史など、学校教育、社会教育において浦戸における体験活動が盛んに開催されている。今年度も生活科や総合学習をはじめ、多くの学校が浦戸での体験活動を計画している。



ニユー市民クラブ
阿部かほる

学校周辺地域の環境
対策を

議員 市内どの学校周辺地域も夜間照明が少なく不安を感じている住民が多い。児童生徒の下校時の安全確保と周辺住民の不安解消の見地から暗くて不安な箇所には防犯灯を設置し地域の環境改善を求める市民の声に答えて頂きたい。また、通学路の治安維持のため防犯カメラの設置についても検討を願いたい。

市長 市内には現在五千基の照明が設置されている。さらに東北電力等から毎年約十基の寄附

を受け、学校周辺通路を中心に設置している。しかし、学校周辺では防犯灯が不足している地域もあり、不審者情報等も何件か寄せられているので引き続き明るいまちづくりを進めたい。防犯灯、防犯カメラの設置については地域活力基盤創造交付金の活用等を検討したい。県防犯協会連合会の事業として、塩釜駅前交番付近を防犯ロードとして高照度防犯灯と緊急通報装置を設置頂いた。今後当該事業を本市の事業として学校周辺を中心に導入することを検討したい。

水産加工品の販売促進
と街の活性化対策は

議員 地産地消の推進とまちの活性化対策は市民に理解されることが必要であり、市民の力を活かす市民参加型事業がよい。お中元お歳暮等、親類知人への贈答は、地産製品の良さを知らしてもらい観光宣伝の効果も期待できる。全製品を一堂に展示、即注文配送する場所の設定、買いやすくするため商品券等の助成等永続性のある地域循環型経済活性化事業として取り組んではどうか市長の見解を伺いたい。

市長 市内の水産加工の振興策



塩釜フード見本市

については、毎年塩釜団地水産加工業協同組合や水産加工開放実験室と連携し、地産地消の意識高揚に努めている。また、塩竈の生マグロを郵便局のゆうパックふるさと小包として商品化する企画や「塩釜フード見本市」などのさまざまな取り組みに加え、議員からも提案いただいた恒例化しているお中元、お歳暮といったチャンスに水産加工品等地場産品を改めて売り込むことについてもしっかりと取り組んでまいりたい。





ニュー市民クラブ
鎌田 礼二

市立病院の現況は

議員 今年度より市立病院改革プランに基づき病院改革が進められていることと思うが、現在の状況は。また、ことし四・五
市長 改革プランを前倒しで取り組んだ結果、二十年度の医療収益は十九年度を上回り、さらに特例債を借り入れたことにより、二十一億三千万円あった不良債務を二十年度決算で三億九千万円に圧縮できる見通しである。具体的な取り組みとして、ベッド数を削減し、加えて救急患者の積極的な受け入れにより、ベッド利用率は四月が一〇一%、五月が九十%となっている。また、紹介患者をふやすため地域医療連携室の体制を強化するとともに、総合診療室を設置し新患の待ち時間を十分程度にまで短縮している。さらに公開セミナーを開催し、これらの取り組みを周知している。ことし四・五月の収支状況は、ともに月別の目標額を上回り、今年度最大の目標である収支均衡に向けて順調なスタートを切っている。

魚市場の経営形態は

議員 魚市場の経営形態は全国的に市町村等の公設が多いのか、または漁協等の経営が多いのか、一般的な状況について伺いたい。
市長 現在の地方卸売市場法は、国民に安定した生鮮食料品を提供することを目的に制定されたが、モータリゼーションの進展等により市場規模が広がり、市場の再編淘汰が進み、結果的に全国的に市場の公設化が進んだものと判断している。全国に十三ある特定第三種漁港の卸売市場をみると、県が開設者となっているものが二港、市が開設者



塩竈市魚市場

となっているものが本市を含めて七港、そして漁業協同組合が開設者となっているものが四港となっている。今後さまざまな角度から地方卸売市場のあり方について検討していきたい。
産業部長 マグロはえ縄船の減船や国際的なマグロ資源の保護の動き、施設の老朽化に伴う施設改修の財源確保の面から見ても早期の民営化は困難と考える。



チェンジしおがま
佐藤 英治

自治基本条例を

議員 地方自治の基本は、住民を中心としたまちづくりである。各自治体において、住民の参画や協働、情報公開等条例は整備されてきたが、住民を中心とした基本的条例がない。本市においては、長期総合計画を策定する際、住民の声を反映させることが生きた計画につながるものと考えている。行政と議会と市民が情報を共有し、互いが役割を分担し合う自治基本条例について、市長の見解を伺いたい。
市長 自治基本条例は、市民との協働のまちづくりを進めるため、自治のあり方や地域課題への対応の仕方、まちづくりに対する市民、議会、行政それぞれの役割を明らかにする条例ではないかと理解している。今後、より多くの市民の皆様のふるさと塩竈再生にかけるさまざまな思いをしっかりと受けとめ、本市の新たな長期総合計画そのものが住民自治基本条例を具現化したものであるというような評価をいただけるよう努力してまいります。

新庁舎建設構想は

議員 ①現在五つの行政庁舎が分散している。行財政改革を推進する観点から効率性や経費において矛盾すると思うが見解を伺いたい。②庁舎の耐震問題や公共建造物の環境的配慮等考えと建てかえる時期が来ている。利便性ある庁舎にすべきではないか。③PFI方式等による建設を進めている自治体もあるがどのように考えているか。④庁舎建設のための専門委員会を設置してはどうか見解を伺いたい。
市長 ①今後とも担当職員の資質向上、窓口間の連携等ハード、ソフトのさらなる充実強化を図り、物理的な制約を補えるよう取り組んでまいりたい。②宮城県沖地震等を含め、総合的な対応が必要であるという考え方は変わっていない。第五次長期総合計画策定の中で方向性を明確にしていく。③PFIも有力な手法の一つである。しかし建設費そのものの縮減ということにはなかなかつながらないのではないかという認識をしております。さまざまな手法を検討したい。



塩竈市教育委員会庁舎 (本町)

市政に対する一般質問



6月定例会審議結果

議案番号	件名	結果
議案第53号	塩竈市市税条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第54号	塩竈市国民健康保険条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第55号	健康保険法等の一部を改正する法律等の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	原案可決
議案第56号	平成21年度塩竈市一般会計補正予算	原案可決
議案第57号	平成21年度塩竈市魚市場事業特別会計補正予算	原案可決
議案第58号	平成21年度塩竈市下水道事業特別会計補正予算	原案可決
議案第59号	平成21年度塩竈市土地区画整理事業特別会計補正予算	原案可決
議案第60号	塩竈市集会所の指定管理者の指定について	原案可決
議案第61号	市道路線の認定及び廃止について	原案可決
議案第62号	宮城県市町村自治振興センターを組織する地方公共団体の数の減少について	原案可決
議案第63号	宮城県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の変更について	原案可決
議案第64号	宮城県後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の変更について	原案可決
議員提出議案第3号	地方分権改革の推進に関する決議	原案可決
議員提出議案第4号	地方税財源の充実強化に関する決議	原案可決
議員提出議案第5号	北朝鮮の地下核実験に抗議し、核実験中止と核兵器開発中止を求める決議	原案可決
議員提出議案第6号	塩竈市議会委員会条例の一部を改正する条例	原案可決

5月臨時会審議結果

議案番号	件名	結果
議案第47号	市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第48号	特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第49号	塩竈市教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第50号	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第51号	財産の取得について	原案可決
議案第52号	特別職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	原案可決
議員提出議案第2号	塩竈市議会委員会条例の一部を改正する条例	原案可決

次回の定例会は
9月7日(月)
開催予定です

表彰

第八十五回全国市議会議長会定期総会(五月二十七日)において次の方々が表彰されました。

◎議員在職十年以上

◎感謝状(評議員として)

志賀直哉 木鈴木吉雄
中川昭彦 村木邦一

市議会会派構成

6月8日現在の会派構成(届け出順)は次のとおりです。(○は会派の代表者)

公明党(3名)

○嶺岸淳一 浅野敏江
小野幸男

日本共産党塩釜市議団(5名)

○小野絹子 曾我ミヨ
吉川弘 伊勢由典
中川邦彦

ニュー市民クラブ(7名)

○伊藤栄一 菊地進
今野恭一 鈴木昭一
木村吉雄 阿部かほる
鎌田礼二

再生クラブ(1名)

○佐藤貞夫

チェンジしおがま(3名)

○東海林京子 佐藤英治
伊藤博章

自民クラブ(2名)

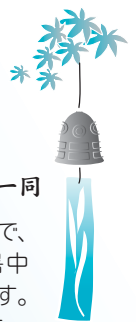
○香取嗣雄 志賀直哉

暑中お見舞い 申し上げます

平成21年盛夏

塩竈市議会議員一同

※公職選挙法の規定により、議員は選挙区内で、答礼のための自筆によるものを除き、暑中見舞いなどを出すことは禁止されております。市民の皆様のご理解をお願いいたします。



編集後記

市議会だより第一七六号をお届けいたします。今回より委員構成がかわりました。新メンバーは次のとおりです。

委員長 伊藤博章
副委員長 伊勢由典
委員 浅野敏江
委員 菊地進
委員 鎌田礼二
今後皆様にも親しまれる「議会だより」づくりに努力してまいりますので、よろしくお願いたします。

議会編集委員会
委員長 伊藤博章

●常任委員会傍聴のお知らせ

常任委員会は、委員長の許可を得て傍聴することができます。一般傍聴者の定員は七名です。傍聴人は、「委員会傍聴に関する留意事項」を厳守していただくこととなります。申込手続きは、次のとおりです。

記

受付時間 委員会開会時刻の
一時間前から三十分間
受付場所 市役所委員会室(二階)
*申込者が定員を上回る場合は抽選となります。
詳しくは議会事務局議事調査係

☎三六四―一二一四まで